

加藤少将

昭和八年五月十日

加藤少将の功績を表彰し、勲章を授け、位階を追陞するに付、各官省に通知す。昭和八年五月十日、内閣府、陸軍省、海軍省、文部省、逓信省、農林省、商工省、司法省、各省長官に通知す。

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩賢親裁



故陸軍少将齋藤武夫外五名位階追陞の件

一四

昭和五年三月十三日
昭和八年五月三十日
各官省

官 内 省

加藤不登殿

宮内省

昭和二十二年三月十三日

陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件

陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件
陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件
陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件

陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件

先錄 昭 平 日
立書 昭 平 日

後以難考



故陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十二年三月十三日

内閣總理大臣 吉田 茂



月

日

人密位第二八〇號

起 昭和二十二年三月

日 裁可昭和二十二年三月十三日

決定昭和 年 月 日 行 昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣事務官

内閣



故陸軍少將齋藤武夫外五名位階追陞の件

辞令案

例文

内閣

内閣

内閣

同文

解令案

〇并

故陸軍少將齋藤龍夫正五位

内閣盛照大印

内閣書寫官



内閣書寫官



入内閣三六〇

昭和二十三年三月

昭和二十三年三月

陸

軍

故陸軍少將正五位 齋藤 武夫

同 同 卜部 許一

同 同 一瀬 末松

同 同 賀谷 與吉

同 同 林 安男

同 同 中條 豊馬

特旨ヲ以テ位一級追陞セラル

正五位 齋藤 武夫 (昭和十九年七月五日)

同 卜部 許一 (昭和二十年二月二日)

同 一瀬 末松 (昭和二十年六月十三日)

同 賀谷 與吉 (昭和二十年六月十九日)

同 林 安男 (昭和二十年七月二十日)

同 中條 豊馬 (昭和二十年八月二十日)

敘從四位

敘從四位 昭和十九年七月五日死亡 故陸軍少將正五位 齋藤 武夫

大正五年七月二十日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

同 同辛年六月二日死亡 同 卜部 訃一

大正六年七月五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

同 同年六月十三日死亡 同 一瀬 末松

大正三年七月五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

同 同年六月二十九日死亡 同 賀谷 與吉

大正十年七月五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

同 同年七月二十日死亡 同 林 安男

大正八年七月五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

同 同年八月二十日死亡 同 中條 豊馬

大正六年七月五日陸軍歩兵少尉以來在職十年以上

叙位四位
官職不登

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

大正六年十月廿五日
同 年 八月 廿 日 所 力 同 中 務 省 官 廳

立席 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位録費



宗務省
宗務省印

陸軍大尉瀧本 守外四百二十五名叙位の件

一五

大正三年三月十五日
大正三年五月三十日
官 内 省